算数学習における教師の褒め方の考察

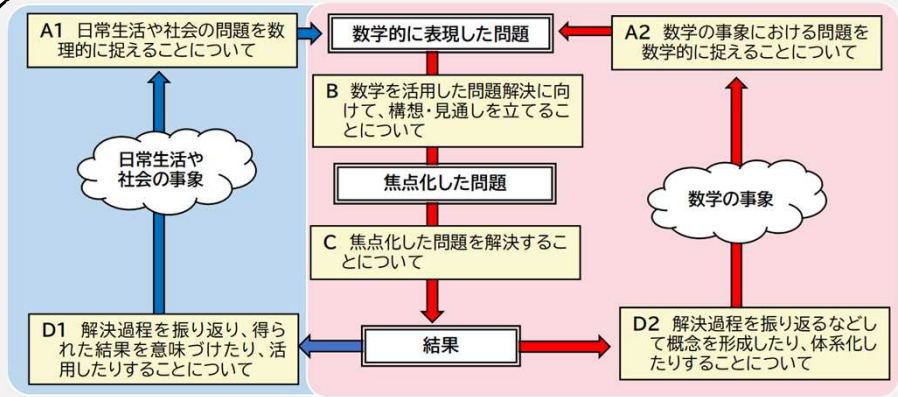
研究の目的　**算数学習において内発的動機づけを効果的に促すための褒め方の考察**

佐藤 寛太
秋田大学学生

算数・数学の現状と課題

- 算数・数学で学ぶ内容に興味のある生徒の割合が国際平均値よりも低い。
- 粘り強く考え抜き問題を解決することによって得られる達成感や主体性を育むことが必要。
- 身に着けた知識や技能を実生活や学習等で活用することが十分にできていない状況が見られた。

⇒ **① 興味や主体性を育むために、子ども自身が「学びたい」「問題を解きたい」などの学習意欲を高めることが大切。**
② 知識や技能を実生活で活用するために、子ども自身が日常の事象を数理的に捉えることが必要。



算数・数学における問題発見・解決の過程をもとにした検討
事象を数理的、数学的に捉えることや、問題に取り組もうとする意欲を高める必要があることから、導入部分にあたるA1、A2の問題把握に関わる過程が、内発的動機を高めるポイントではないかと考える。

児童の学習意欲を引き出すために

子ども自身が日常生活や社会の問題、数学の事象における問題を数理的、数学的に捉えることが必要
↓
学習意欲をより高めることが必要
↓
児童の内発的動機を促すことが大切
↓
内発的動機を高めるためには教師による褒めが効果的

石野・濱田（2018）

～仮説～
内発傾向の児童と外発傾向の児童では教師の褒めによる動機づけの影響は異なるのではないか。

今後の課題

調査対象者が算数・数学の問題を解く過程における、子供の状況をどのように捉え、褒めを与えると内発的動機が高まるのか事例分析を行う。

引用・参考文献　中央教育審議会初等中等教育分科会教育課程部会算数・数学ワーキンググループ（2016）算数・数学ワーキンググループにおける審議の取りまとめについて（報告）.
石野陽子・濱田逸希（2018）. 児童の授業中における内発的動機づけを促す教員の効果的なほめ方の類型. 島根大学大学院教育学研究科教育実践開発専攻 学校教育実践研究 (1), 59-72.